

逆転層または安定層下面に出来る雲は層積雲が主体で、雨は比較的弱いが悪天域は停滞する。そして気温の下降時に凝結量がふえるため現象の程度は強まる。

内陸部に悪天域が広がる場合には、上述の逆転層下に組織化された小じょう乱が発生している。実際に検証した他の例でもそうであるが、この場合と同じように、大規模じょう乱が前線帯に沿って西方約 1,000 km に接近すると発生しているようである。小じょう乱の存在は地上天気図（気圧場）には明瞭に現われないが、下層の風系の変動と、天気変化で認識出来る。このような場合には、間もなく全面的悪天につながる場合が多い。なお現在の数値予報モデル（プリミティブモデル）は本論文に出てくる下層の安定層上方の下降流場はうまくシミュレートしている。したがって本題の現象はモデルの予想限界外の現象と言うことが出来る。

謝辞

資料作成の際、予報課 三橋 資料係長の労を煩わし、

作図に当っては、柴田 予報官、市沢 調査係長に便宜を計って戴いた。厚く感謝します。

文 献

Anderson, R. K., *et al.*, 1974: Application of Meteorological Satellite Data in Analysis and Forecasting, Chapter II.

二宮洗三, 1978: 気団変質過程のエネルギー収支, 気象庁技術報告, 93, 67-107.

斎藤直輔, 1971: 関東地方の北東流についての一考察, 研究時報, 23, 241-254.

———, 1978: AMTEX 領域の総観現象とその解析, 気象庁技術報告, 93, 9-40.

瀬下慶長, 1963: 関東地方の北東気流, 気象研究ノート, 14, 81-91.

田中源造編, 1962: 北高（北東気流）型の流圧配置と東海地方の天流, 研究時報, 14, 412-419.

東京管区気象台, 1977: 地域気象調査資料, No. 45, 関東・甲信地方の小低気圧について.

安田清美編, 1962: 北高（北東気流）型の気圧配置と東海地方の天気, 研究時報, 14, 108-118.

気象学会および関連学会行事予定

行 事 名	開 催 年 月 日	主 催 団 体 等	場 所
第24回国際地理学会議 (気候関係)	昭和55年 9月1日～4日	国際地理学連合 (IGU)	全共連会館 都市センターホール
月例会「大気数値シミュレーション」	昭和55年 9月3日	日本気象学会	東大海洋研究所
第17回自然災害科学総合シンポジウム	昭和55年10月20日～21日		名古屋大学農学部
昭和55年日本気象学会秋季大会	昭和55年10月29日～31日	日本気象学会	京都教育文化センター
第6回リモートセンシングシンポジウム	昭和55年11月18日～19日	計測自動制御学会	国立教育会館
第18回粉体に関する討論会	昭和55年11月27日～29日	日本化学会ほか	豊橋技術科学大学
第27回風に関するシンポジウム	昭和55年12月9日		気象研究所講堂
IAMAP Third Scientific Assembly*	1981年 8月17日～28日		西独ハンブルグ市

*詳細は、本誌9月号 NEWS 欄をご覧ください。